

無料



ピロリ菌検査のご案内

自宅で
できます

— まずは簡単便利な「郵送検診」で早期発見を—

当健康保険組合では、皆様の健康管理のお手伝いとして、**自宅で簡単にできるピロリ菌検査**を実施しております。

胃がんを引き起こすピロリ菌感染の有無を知り、陽性の場合には除菌治療をすることで胃がんを予防しましょう。是非この機会に受診してください。

記

- 1. 検診対象者** 当健康保険組合に加入している
50歳以上（令和9年3月31日現在の年齢）の被保険者及び被扶養者。
（過去に検査を受けた方を除きます。）
- 2. 検診内容** 便による便中ピロリ菌抗原検査
（検査内容については裏面を参照してください。）
- 3. 検診費用** 当健康保険組合が全額負担します。
- 4. 申込方法** PepUpの「各種申請」から申し込みをしてください。
- 5. 締切日** **申込締切：6月16日（火）** 検体返送締切：6月30日（火）必着
- 6. 器具の送付**
 - ①申込後、約2週間で個人宛に検査機関から採取器具が郵送されます。
 - ②ご家庭で説明書をよく読んで、問診票と採取した器具を同封の封筒に入れて、検査機関に郵送してください。（切手不要）
 - ③検診の結果は、器具到着後約2週間で個人宛に郵送されます。
- 7. 検査機関** 〒604-0827 京都市中京区高倉通二条下ル瓦町550 メスプビル内
メスプ細胞検査研究所（京都府登録衛生検査所第38号）
TEL（075）231-2230

お申込みからの流れ



<個人情報の取り扱いについて>

受診される方の個人情報は、本検診を提供する目的に限り利用します。また、受診する方の個人情報を事前の承諾等を得ず、第三者に提供・開示することはありません。



ピロリ菌除菌で胃がん予防！

—胃がんの主な原因はピロリ菌です—

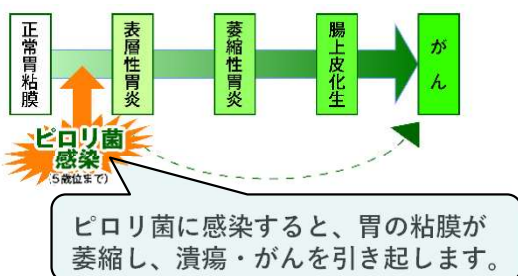
**除菌は
早めが
効果的！**



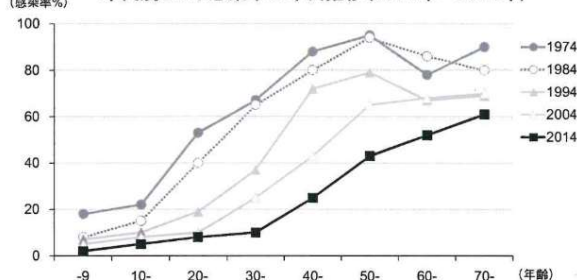
ピロリ菌感染が「胃がん」や慢性胃炎、胃・十二指腸潰瘍を引き起こします。

ピロリ菌は胃にすむ細菌で、免疫力の弱い5歳くらいまでの間に感染し、除菌治療をするまで感染は持続します。ピロリ菌感染により胃の粘膜が傷つけられ、やがて慢性萎縮性胃炎を経て、胃・十二指腸潰瘍や胃がんを起こすことが知られています。大人になって感染することはほとんどありませんので、結果が陽性の方は、除菌治療を行うことにより、潰瘍の再発防止、胃がん発症のリスクが低下するなど、胃の状態改善が期待できます。

胃がん発生の仮説



年代別ピロリ感染率の年次推移(1974年～2014年)



<こんな方は受診を！>

- ・胃の調子が悪い
- ・家族に胃・十二指腸潰瘍にかかった人がいる

ピロリ菌検査で陽性だったら？

内視鏡検査で胃の状態を確認し、医師の指示により服薬による**除菌治療**をします。近年、治療薬の変更により**ピロリ菌除菌率が飛躍的に向上**していますので、できるだけ早めに除菌をしましょう。

検査方法は簡単です。

1日分の便を採取しポストに投函するだけ！



現在のピロリ菌感染の有無が分かります。

除菌された方の判定にも最適です。

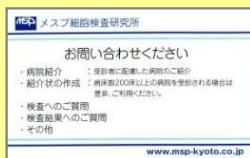
除菌判定（除菌が成功がどうか）として使われる場合は、除菌治療後4週間経過以降の採便となります。

※血液検査の注意事項

治療用の薬剤（ヘパリン・ワーファリン・ウロキナーゼ等）を服用し、止血機能が低下している方は検査の申込みができません。

受診後も安心！

結果が有所見となった場合は、必ず精密検査を受けましょう



検査機関では、受診者の方にあった病院をご紹介します。

紹介状の作成（無料）もしていますので、

お気軽に検査機関にお問合わせください。

検査機関：メスブ細胞検査研究所 TEL (075) 231-2230

HP <https://www.msp-kyoto.co.jp/>

【注意事項】

- ・郵送検診は自覚症状のない方を対象にしています。すでに自覚症状や気になることがある方は医療機関をご受診ください。
- ・郵送検診はスクリーニング検診（一次検診）であり、検診結果は病名を診断するものではありません。「要精密検査、陽性」の結果が出た場合は、速やかに医療機関を受診ください。「異常なし・陰性」の結果の方も、自覚症状や気になることがある方は医療機関を受診されることをお勧めします。